

## 情緒障害児短期治療施設職員指導者研修

### 1 目的

児童虐待に関する諸知見を深め、適切な援助のあり方を検討し、中心的、指導的な治療的援助者としての資質の向上を図る。

2 テーマ 「被虐待児に対する治療的援助」「施設内暴力や性化行動への対応」「ファミリーソーシャルワーク」

3 対象 情緒障害児短期治療施設で指導的立場にある主任指導員、主任心理士、主任保育士等

4 期間 平成20年9月24日（水）～9月26日（金）

### 5 内容

	時間	科 目	講 師	内 容
1 日 目 午 後	13:00	開 会		
	13:30	【講義1】 情緒障害児短期治療施設における治療的援助の本質	学識者等	情短施設における治療は、生活を中心とした総合環境療法であり、異職種職員から成るチームアプローチが基本である。治療的枠組みや役割分担など治療を行う上での必要不可欠な視点を学ぶ。
	15:30			
	16:00	【グループ討議1】 情報交換		参加者の職種、経験などにより編成したグループで、各施設の状況などについて意見・情報の交換を行う。
	18:00			
	18:15 20:00	【交流会】		
2 日 目 午 前	9:30	【事例検討1】 子どもの育ちの実際	事例発表：参加者 助言：児童精神科医 心理臨床家	参加者から提出されたケースについて検討を行い、子どもの治療の具体的な工夫を検討する。
	12:00			
2 日 目 午 後	13:00	【事例検討2】 子どもの育ちの実際	事例発表：参加者 助言：児童精神科医 心理臨床家	午前とは異なる参加者から提出されたケースについて検討を行い、子どもの治療の具体的な工夫を検討する。
	15:30			
	16:00 17:30	【グループ討議2】 被虐待児への治療的援助について		事例検討を踏まえて、自施設の取り組みを振り返る。

3 日 目 午 前	9:30	<b>【講義2】</b> 施設におけるファミリー・ソーシャル・ワークについて	学識者 精神科医師 児童福祉施設経験者	子どもや家族への支援をする上で、児童相談所など関係機関との協働は不可欠であるが、様々な課題もある。課題を整理し、より良い協働のあり方について理解を深める。
	12:00			
	12:15	終	了	